BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: “ TECHNO FLIP”

COLOR:SOLID：BLUE/BLACK/RED

COVER STOCK:INSIGHT tm HYBRID REACTIVE

RG：2.49 〈MED-LOW〉⊿RG:0.058(HIGH)

FACTORYFINISH:1500-Grit Polish

TRACKFLAREPOTENTIAL:7＋(HIGH)

BACK END:19（1－20）MAX　LENGTH：16（1-20）

O	LONG			
I	MEDIUM	◎	●	
L	SHORT		●	◎
		Light	Medium	Heavy

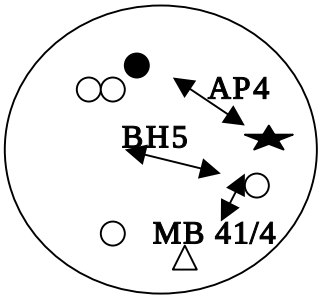
適正レーンコンディショングラフ

【MEDIUM OIL 編】

平成 23 年 11 月 11 日

レイアウト例

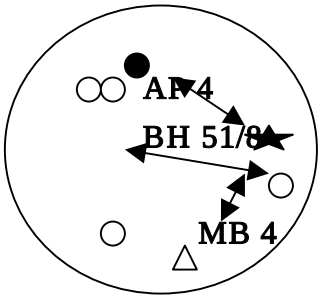
TECHNO FLIP



CA52 度

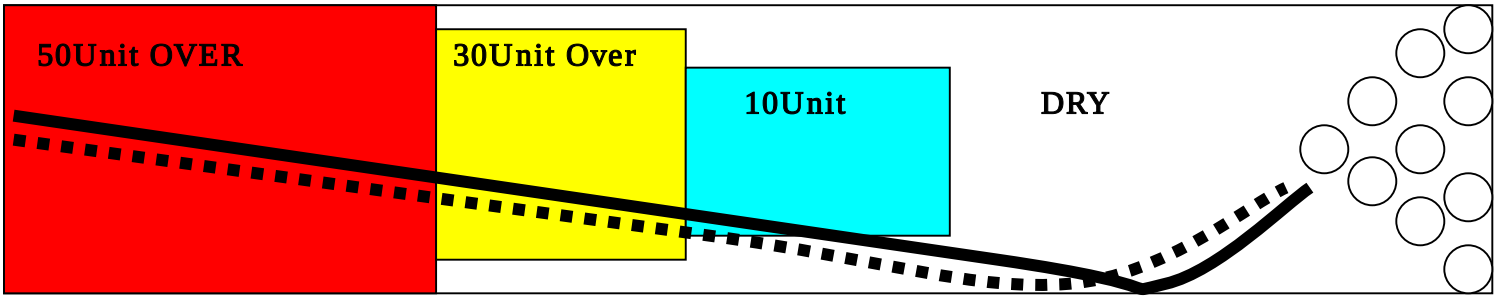
ﾌﾚｱｰ幅　最大 63/4・間隔 1/8

TECHNO THEORY



CA52 度

最大 6 3/4・間隔 1/8



0F　15F　37F　40F

比較品ライン　TECHNO FLIP　TECHNO THEORY

【レーン状況】　ベースメンテナンスはツインスターで、15F まではｽﾌﾟﾚｰｵｲﾙで増量し 50 ﾕﾆｯﾄ以上、ﾄﾞﾚｯｼﾝｸﾞ距離は 37F までｵｲﾙ量的にはミディアム仕様でバックエンドはｸﾘｰﾆﾝｸﾞを手拭きで仕上げﾄﾞﾗｲな状況です

【製品比較表】

曲がり度	1	2	◎	△	5	曲がり方	ｱｰｸ	1	2	△	◎	5	ｼｬｰﾌﾟ		
スキッド	1	2	△	◎	5	ｵｲﾙの強さ		1	2	◎	△	5			
ﾋﾟﾝｱｸｼｮﾝ	1	2	3	◎	△										

テスト品 ○　比較品 △

＊上記の数字は、1 側が少ない(短い・弱い)　5 側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

THEORY シリーズの中でも比較的攻撃的な製品は（ﾊﾞｯｸｴﾝﾄﾞが切れる）あまり無くアーク状のコントロール重視をして来ましたが、日本向けにﾊﾞｯｸｴﾝﾄﾞに最大ﾃｰﾏを持ち適度なｽｷｯﾄﾞと角度の付いた大きな曲がりが印象的でした、オイルには強過ぎる過剰な反応を抑えるので投げ易く感じる事が多いと思います。

【ここが POINT】

このシリーズは走り系の PRO-Xやオイルに強いクリティカル、切れのテクノと発売して来ましたが、今回の製品はオイルには強い印象はありませんでした。走り系とも違い行き足では滑るイメージでは無く適度なスキッドでしたが、ボールの曲がる位置が分かり易く見えますので、非常に投げ易い印象が強いボールでした。特に 10 枚近辺を投球する方には、ライン幅を出しても良いし、外目からの投球でも良い感じが得られると思います。ボールバランスも非常に良いので安定した性能が発揮出来ます。

発売日 24 年 1 月中旬-下旬予定　販売価格￥47.250 円　テストセンター本八幡ハタボウル　テスター石原　章夫プロ